

平成 30 年度 星槎道都大学 大学での学び実態調査 について

平成 30 年 7 月下旬に、全学生を対象に「大学での学び実態調査」を実施いたしました。
ご協力いただきました本学教職員と学生のみなさまにお礼申し上げます。

集計作業が完了しましたのでレポートを本学ホームページ上で公表いたします。

この実態調査により本学学生の実態が明確となりましたので、今後課題を検討し、改善に取り組むことが可能となりました。

○学年別の回答率は下記のとおりです。

1 年生 75.9%

2 年生 53.0%

3 年生 61.9%

4 年生 46.3%

星槎道都大学
学務部 IR 課

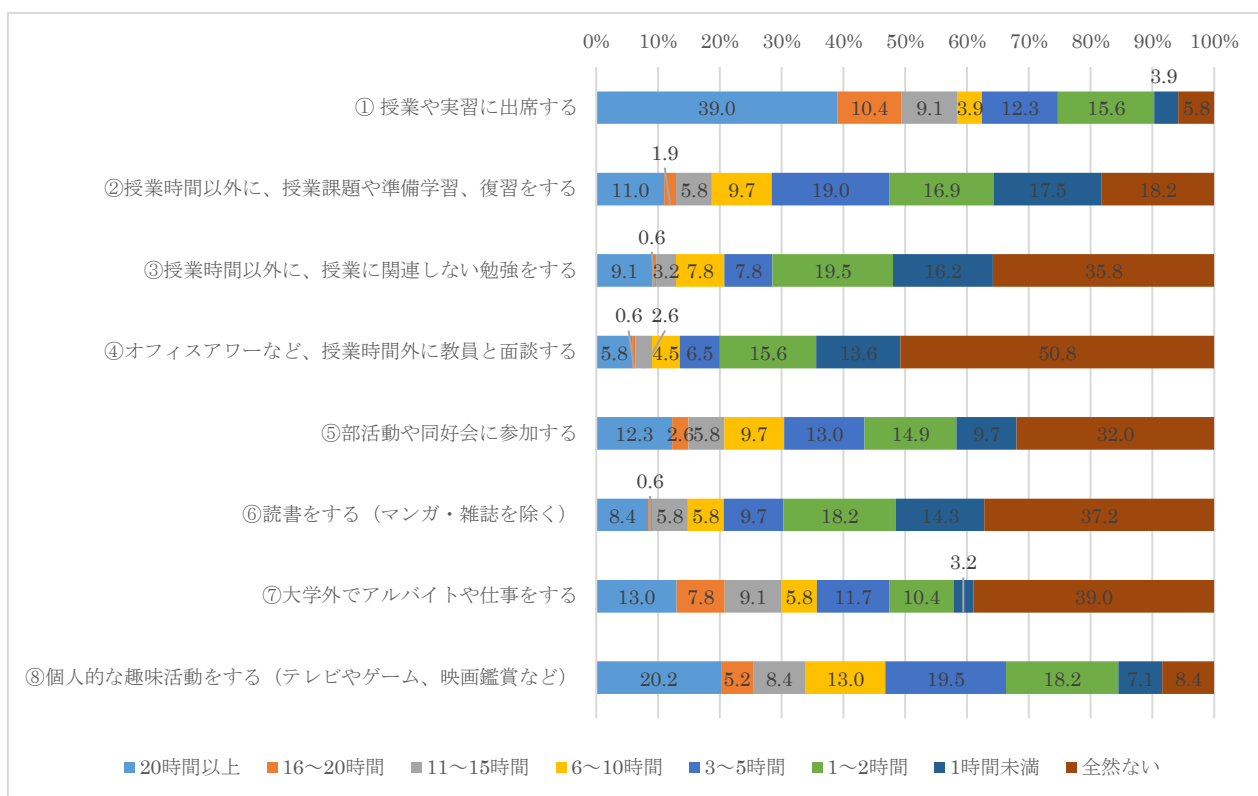
平成 30 年度 星槎道都大学 大学での学び実態調査 レポート

平成 30 年 9 月 26 日

星槎道都大学 学務部 I R 課

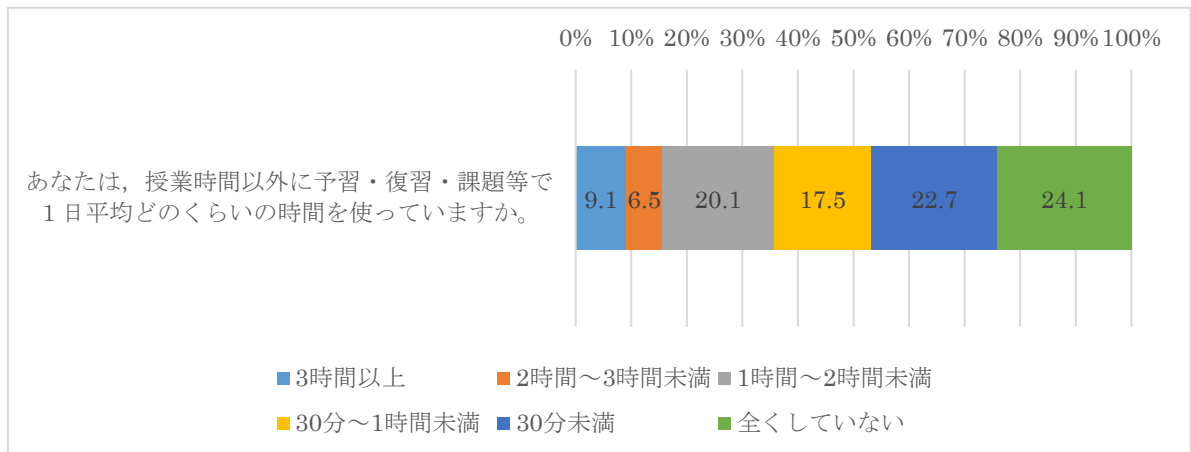
1. 1 年生

(1) 週あたりの活動時間



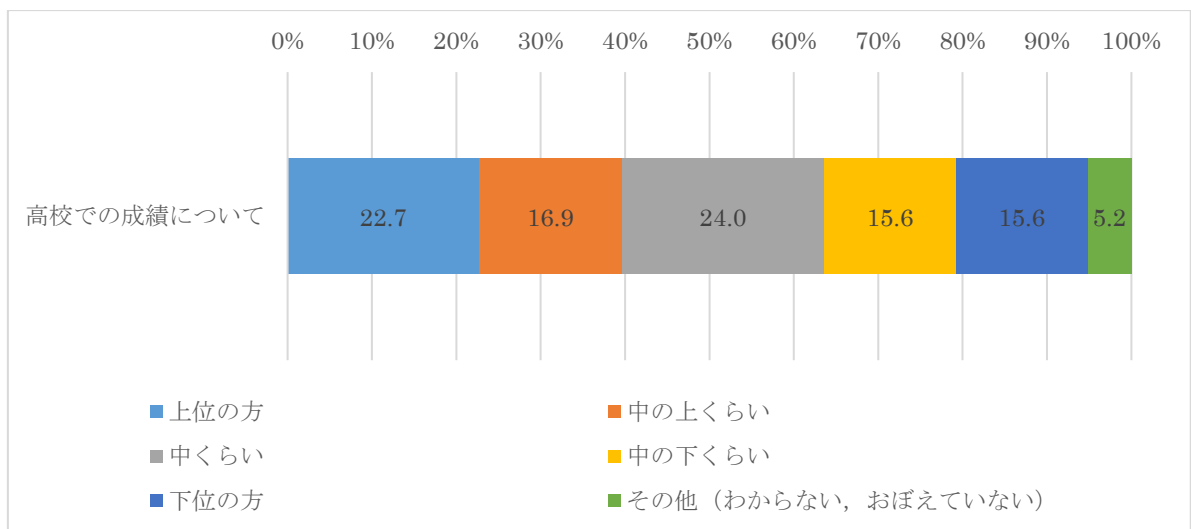
1 年生であり授業や実習に参加する時間が多い。少ない出席時間を回答する学生があり 1 日の時間と勘違いして回答していることも考えられるので、今後の調査では、調査時に十分な説明が必要と思われる。最近では本を読まない学生が増えている傾向にあると言われていたが、時間的にはまだ足りないが本学学生は概ね読書をしているようである。勉強だけとかクラブ活中心にとかではなく、大学の授業を中心に、部活動や趣味活動、アルバイト等様々な活動を行っていることが伺える。授業外に教員の指導をうける学生が約半数しかいない。オフィスアワーを実施しているのもっと活用していただきたい。

(2) 学習時間



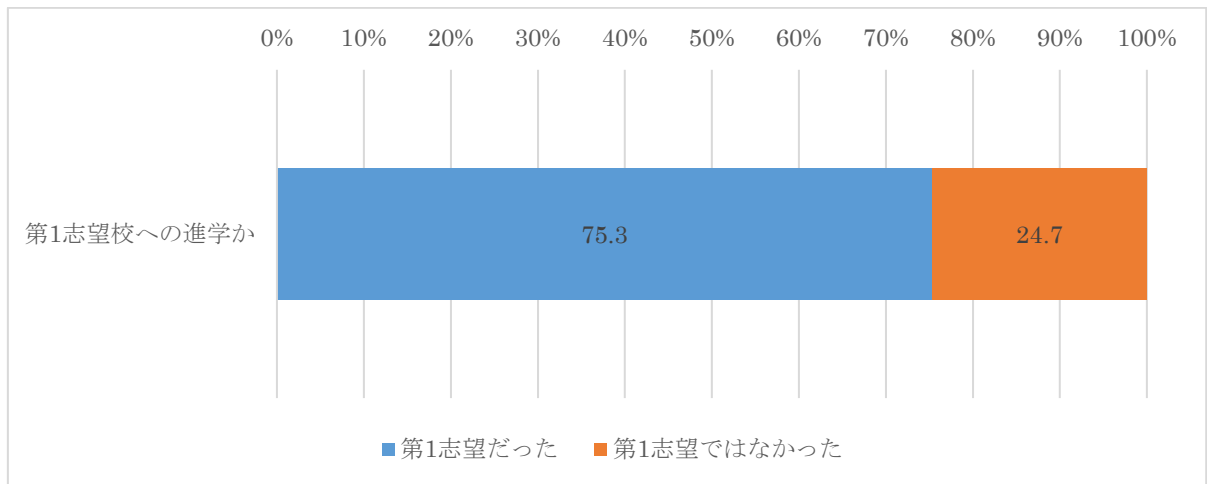
75.9%の学生が毎日授業時間以外に勉強している。しかし、毎日勉強している学生の半数を超える学生が1時間未満であり、予習・復習等の時間としては十分な学習時間とは言えない。

(3) 高校での成績



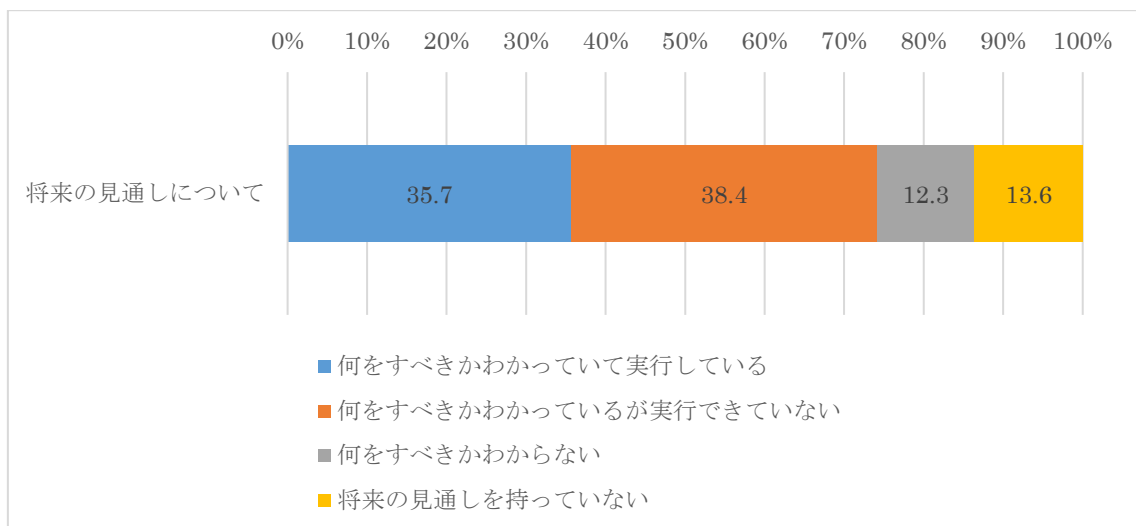
高校での成績は、上位 22.7%、中位 56.5%、下位その他 20.8%となっている。概ね基礎学力はあるようである。

(4) 第1志望への進学か



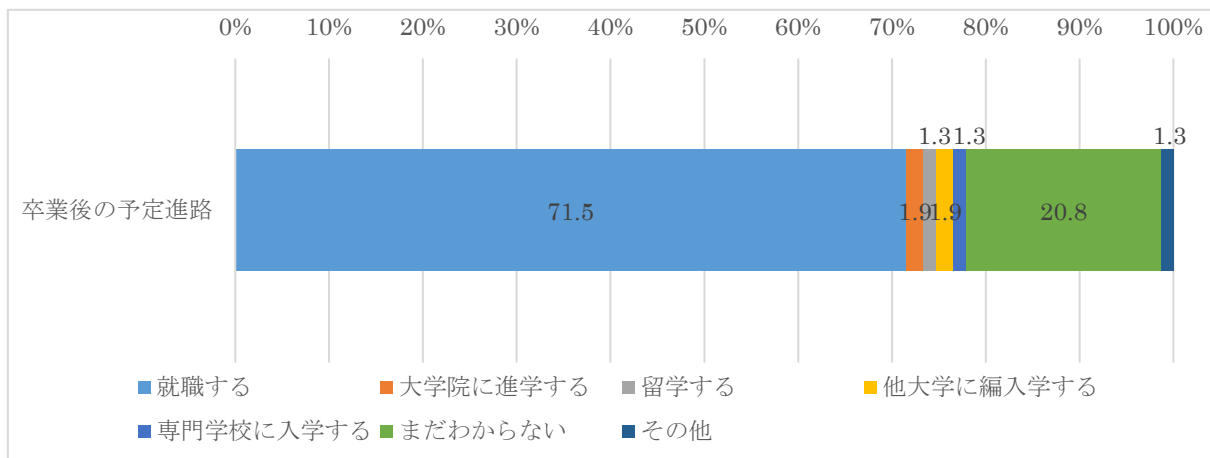
第1志望で入学する学生が大半である。入試部局の分析でも本学の入学者は第1志望が多いと分析しているので、これが裏付けられた。推薦入試やスポーツ選手等の専願での入学者が多いが、合格＝入学ではない一般入試等であっても、入学手続き率は高い。この点で言えば新入生の学習意欲は高いと言えるだろう。

(5) 将来の見通し



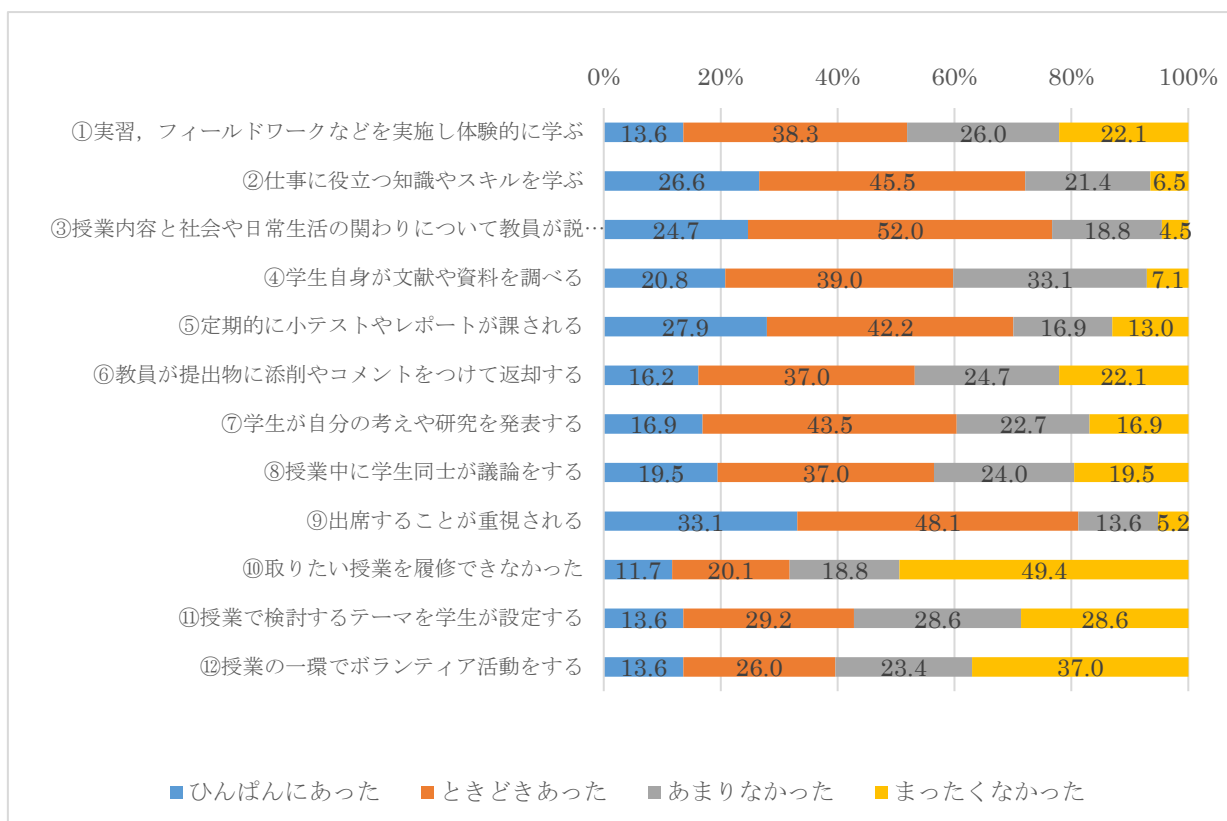
今後何をすべきかわかっている学生が8割近くとなっている。(6)の質問と数は合致しており、整合性がある。

(6) 卒業後の予定進路



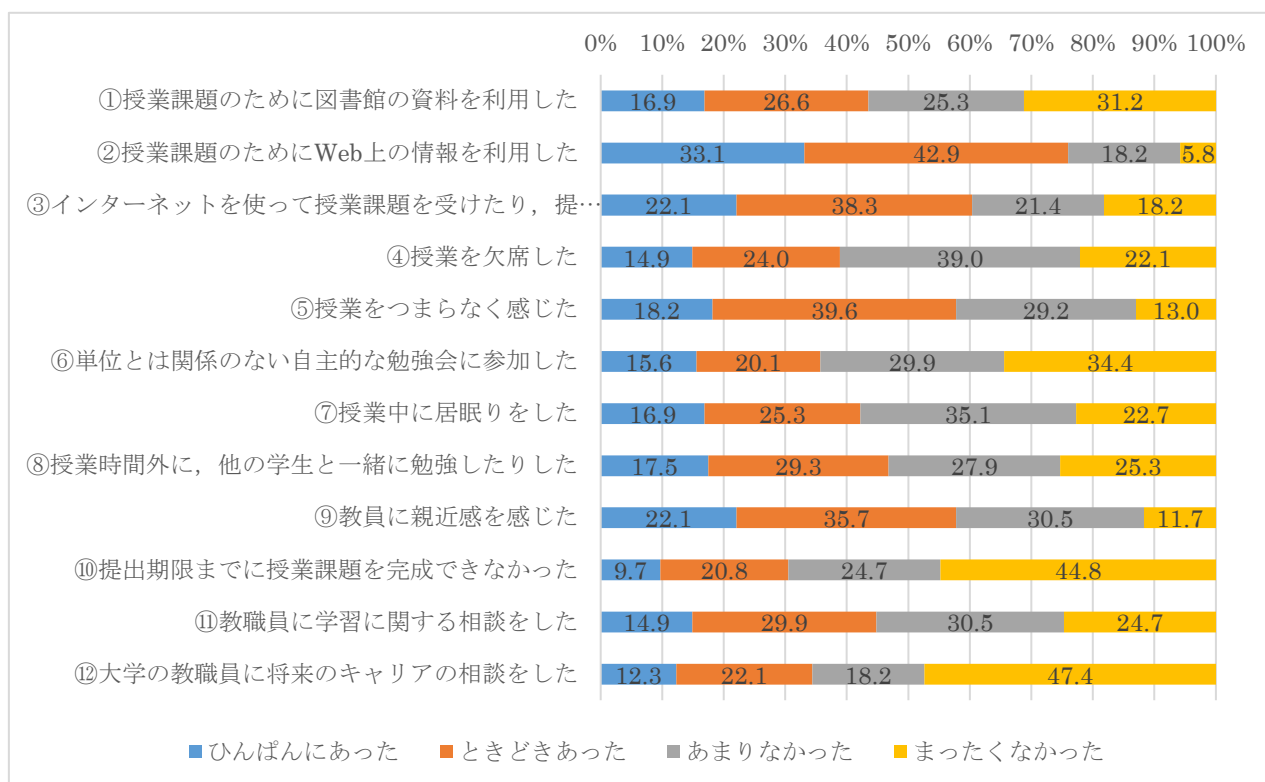
卒業後の進路については、8割近くの学生が既に決めている。明確な目的をもって本学に入学しているようである。

(7) 授業経験



実習・フィールドワークを学ぶ、文献や資料を調べる、小テストやレポート、提出物、研究発表、授業での議論、授業でボランティア活動等、本学では非常に多彩な教育を受けている。

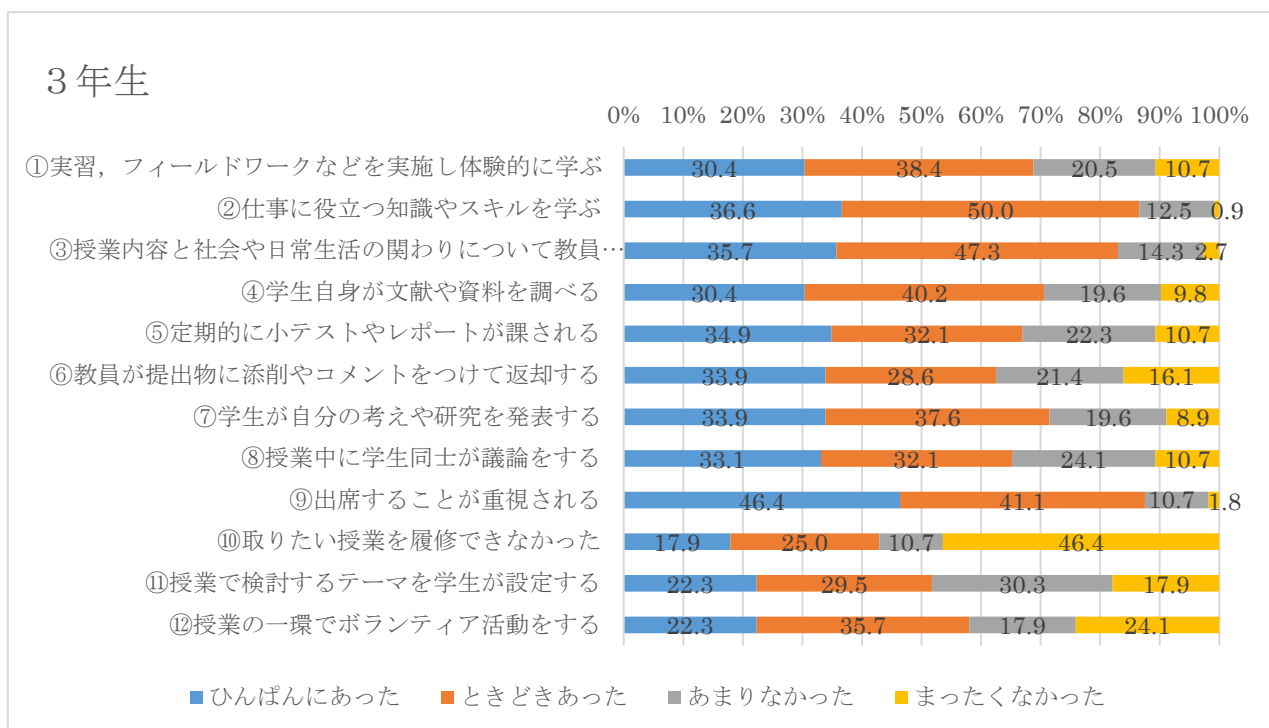
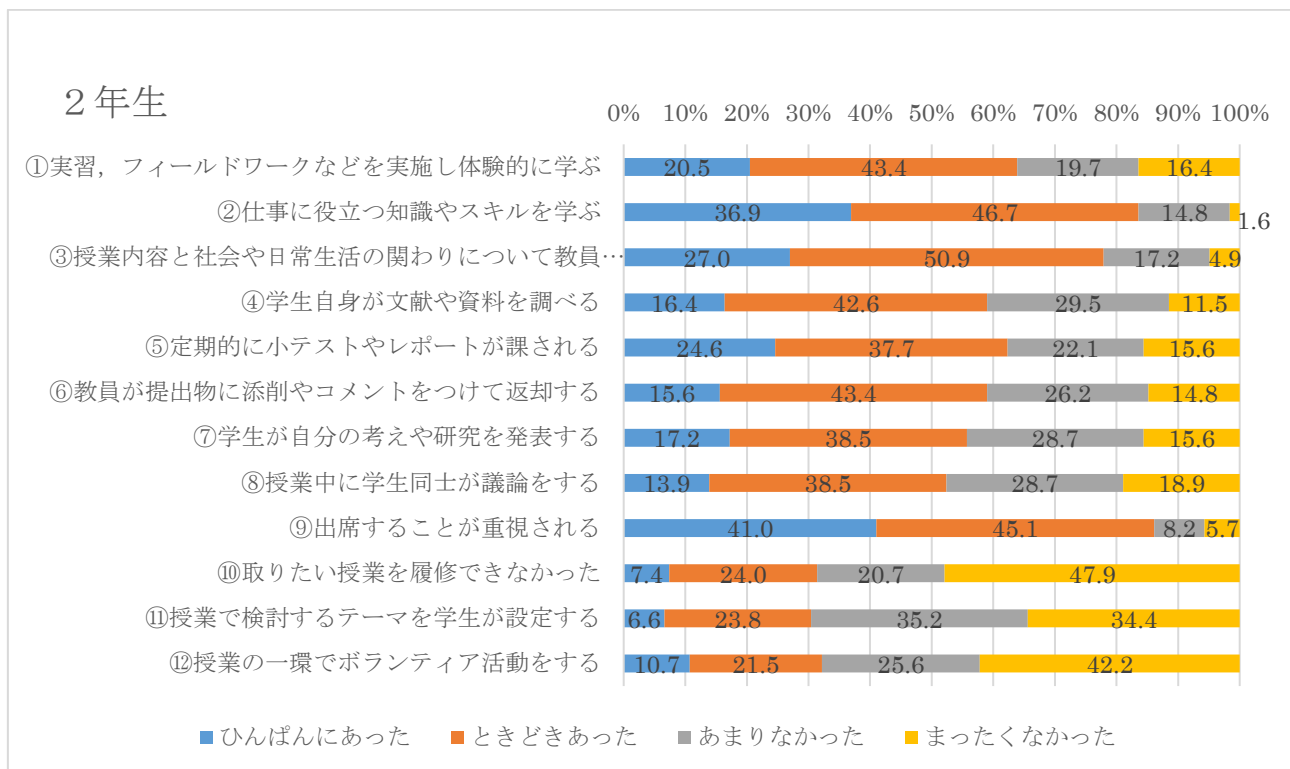
(8) 学修行動



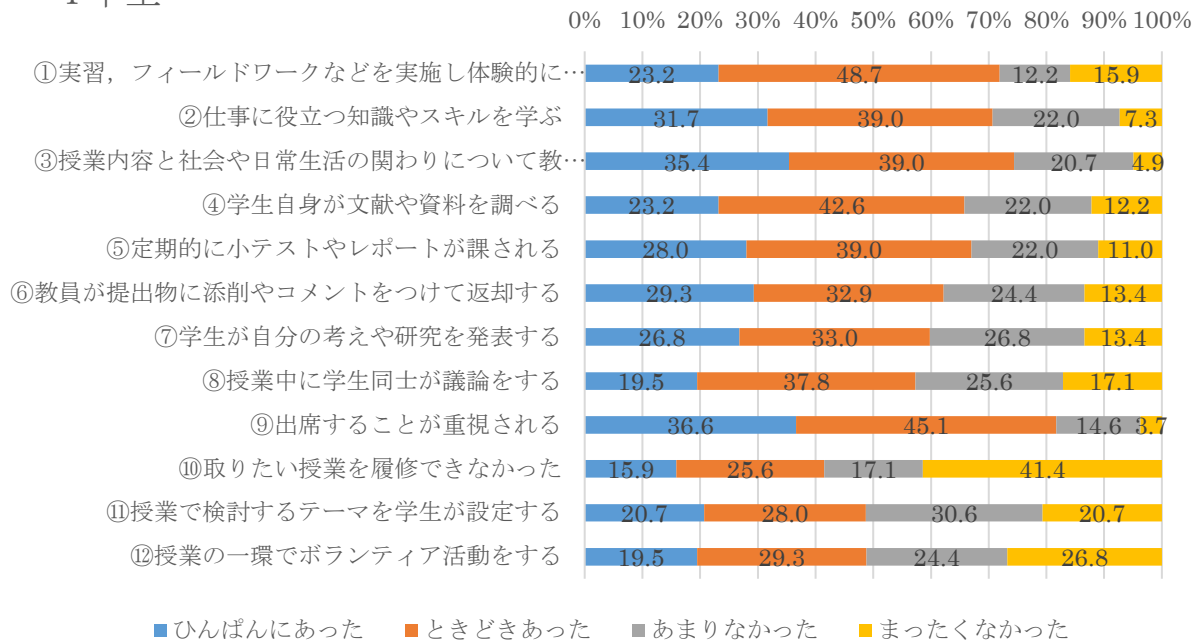
図書館より Web 上から情報を収集している。インターネットを使用した課題のやり取りをしているのが 6 割に上っている。授業を欠席したり、授業をつまらなく感じたり、居眠りをした学生も少なからずいるが、大学では時間の授業時間が長い、専門性の高い内容等いくつか理由は考えられるが、授業内容を工夫するだけでなく、学生の努力も必要である。他方、自主的な勉強会に参加したり、他の学生と一緒に勉強したりするなど積極的な学びも見受けられる。入学してから 4 カ月しか経過していないが、教員に親近感を感じている学生も増えており、教員に学習の相談やキャリア相談する学生も出ている。しかし、その一方で教職員とあまり関わりを持たない学生もいて、その対応が今後の課題であろう。

2. 2年生以上

(1) 授業経験



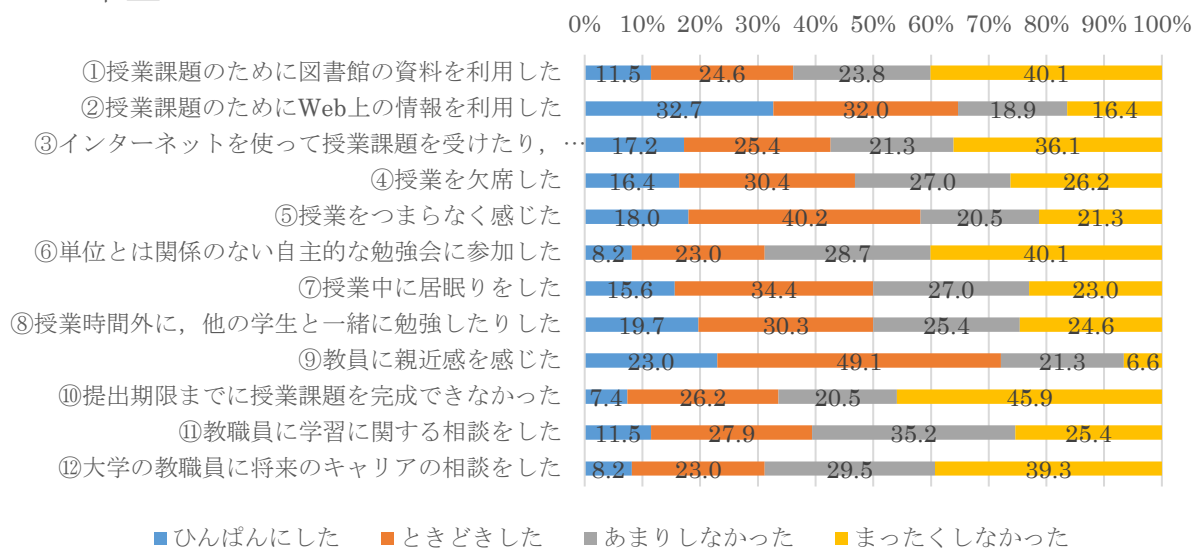
4年生



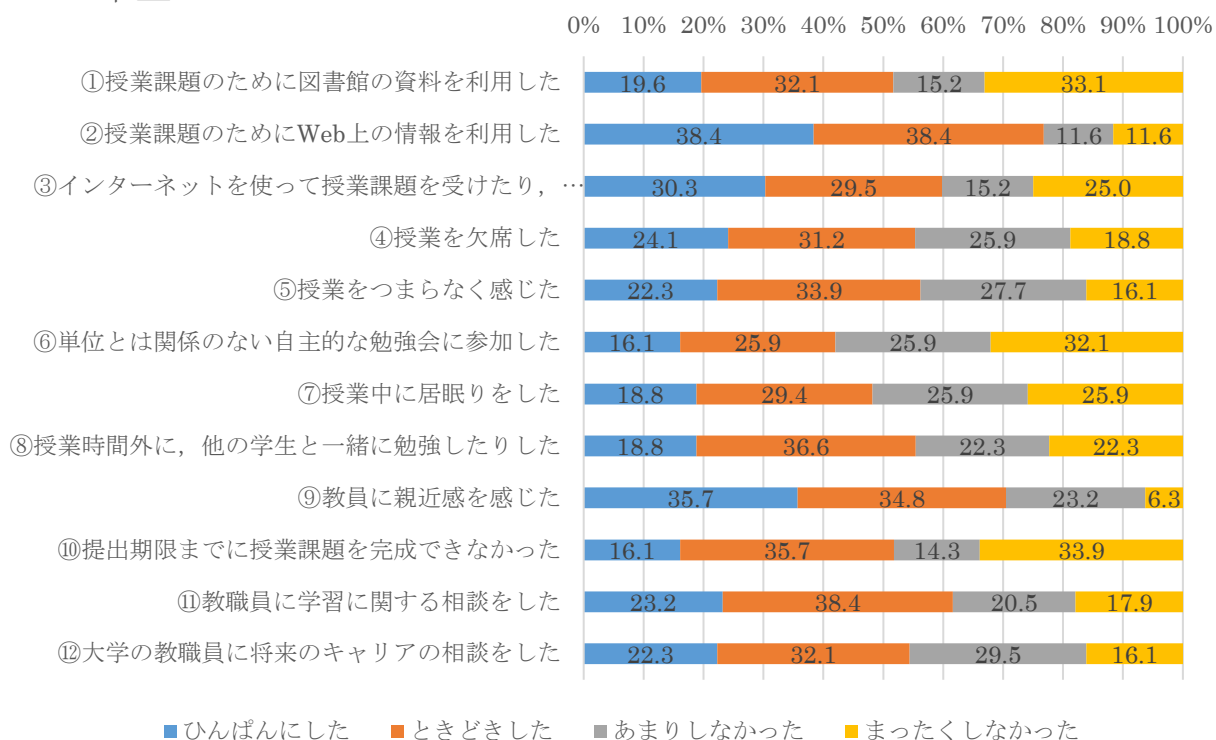
1年生同様、実習・フィールドワークを学ぶ、文献や資料を調べる、小テストやレポート、提出物、研究発表、授業での議論、授業でボランティア活動等、本学では非常に多彩な教育を受けている。⑩取りたい授業を履修できなかった学生がおり、制度上の問題か本人に起因しているのか掘り下げた調査がさらに必要である。

(2) 学修行動について

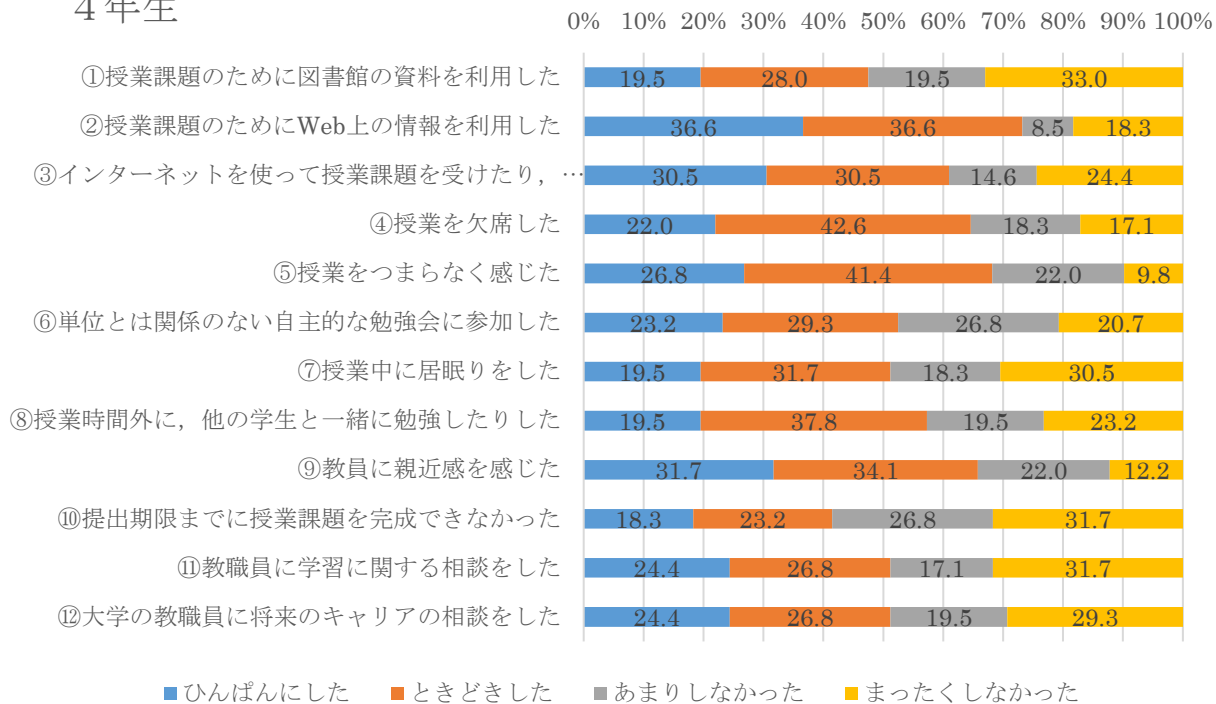
2年生



3年生

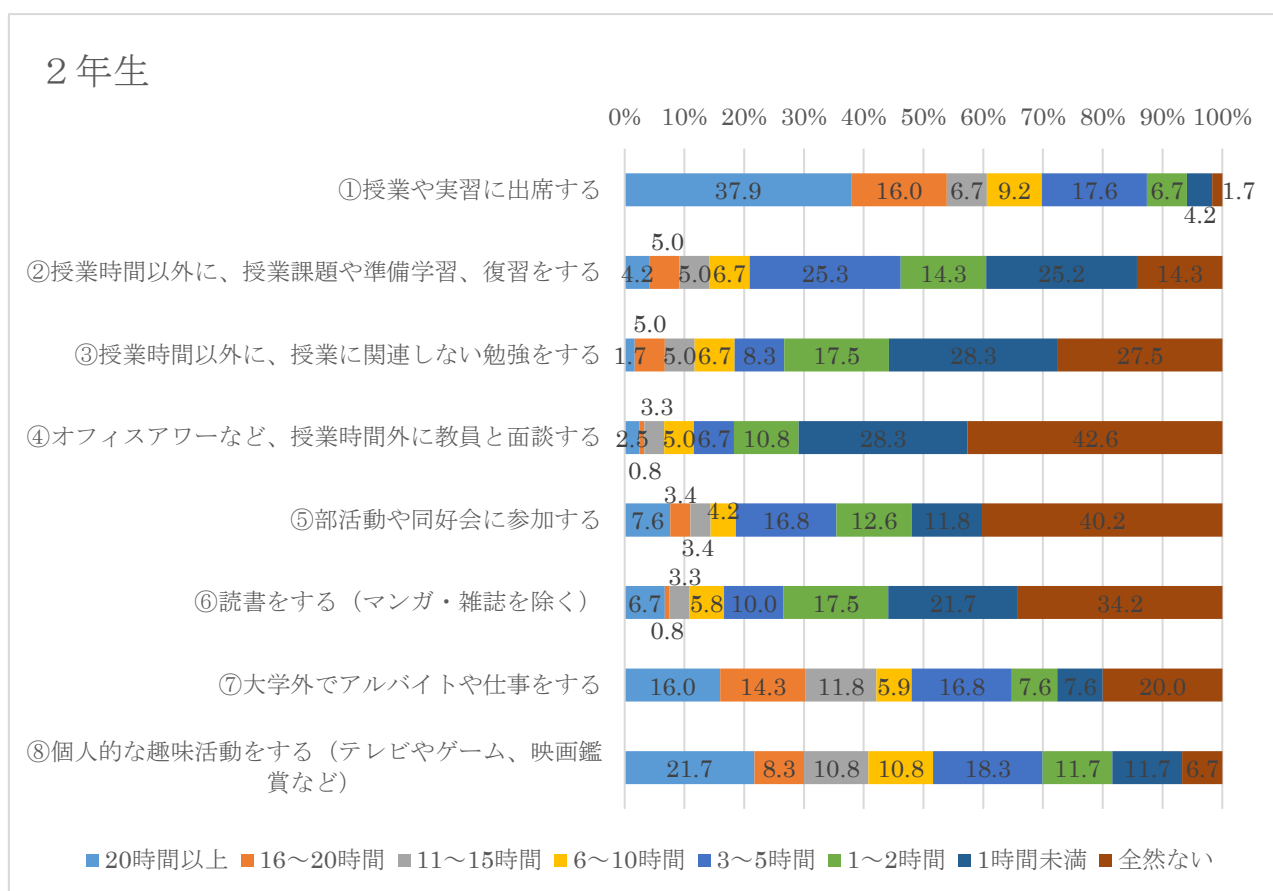


4年生

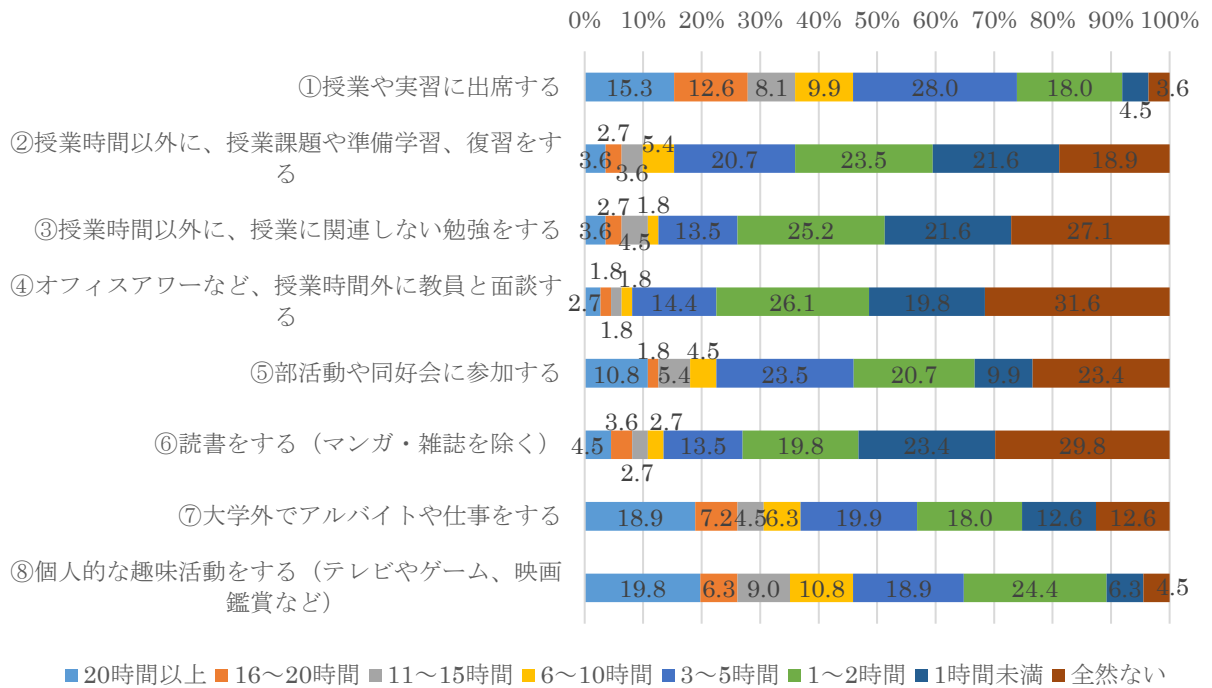


図書館より Web 上から情報を収集している。インターネットを使用した課題のやり取りをしているのが 6 割を超えている。1 年生と同様に授業を欠席したり、授業をつまらなく感じたり、居眠りをした学生も少なからずいるが、教員が授業内容を工夫するだけでなく、学生の努力も必要である。他方、自主的な勉強会に参加したり、他の学生と一緒に勉強したりするなど積極的な学びも見受けられる。教員に親近感を感じていない・あまり感じていない学生が 3 割に達している。積極的に教員を活用すると勉強が進むのに残念である。3 年生は先生との関わりが深いようである。

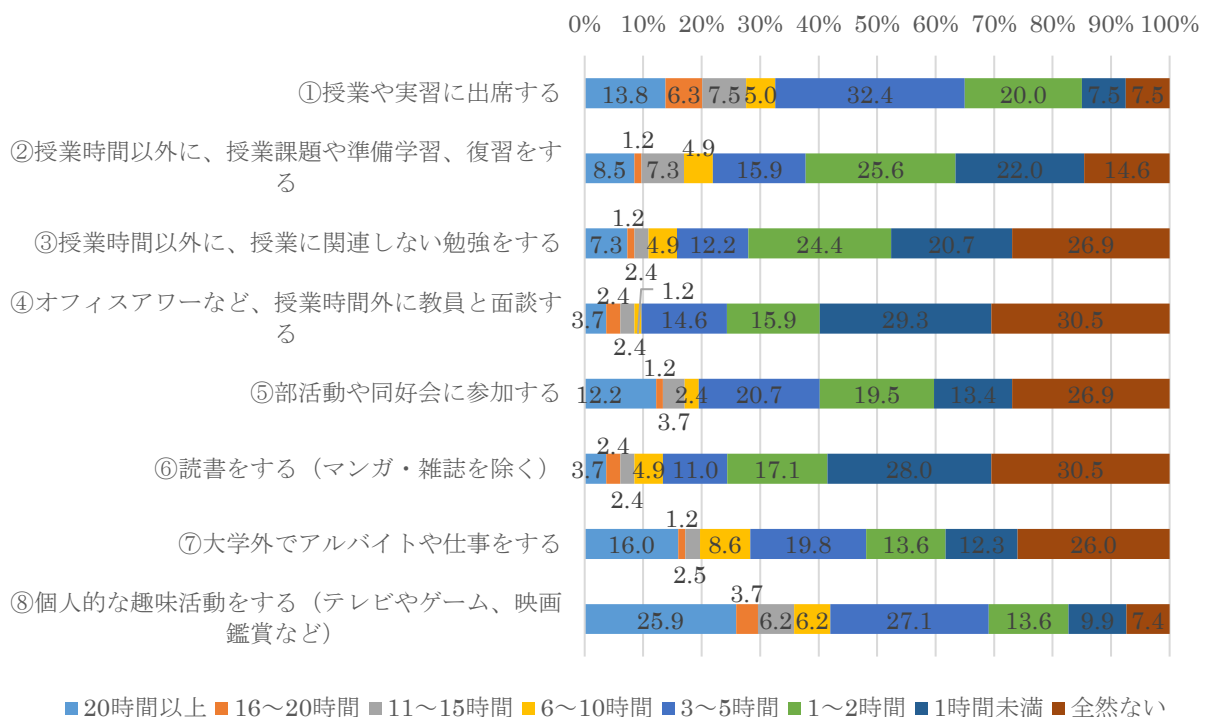
(3) 週あたりの活動時間



3年生

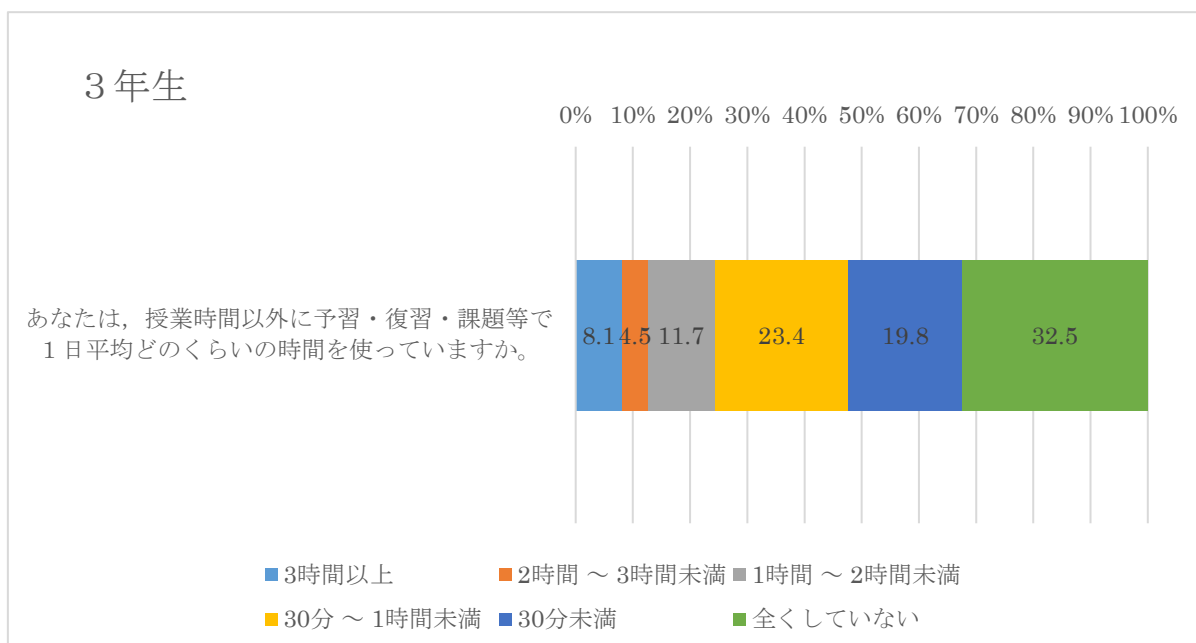
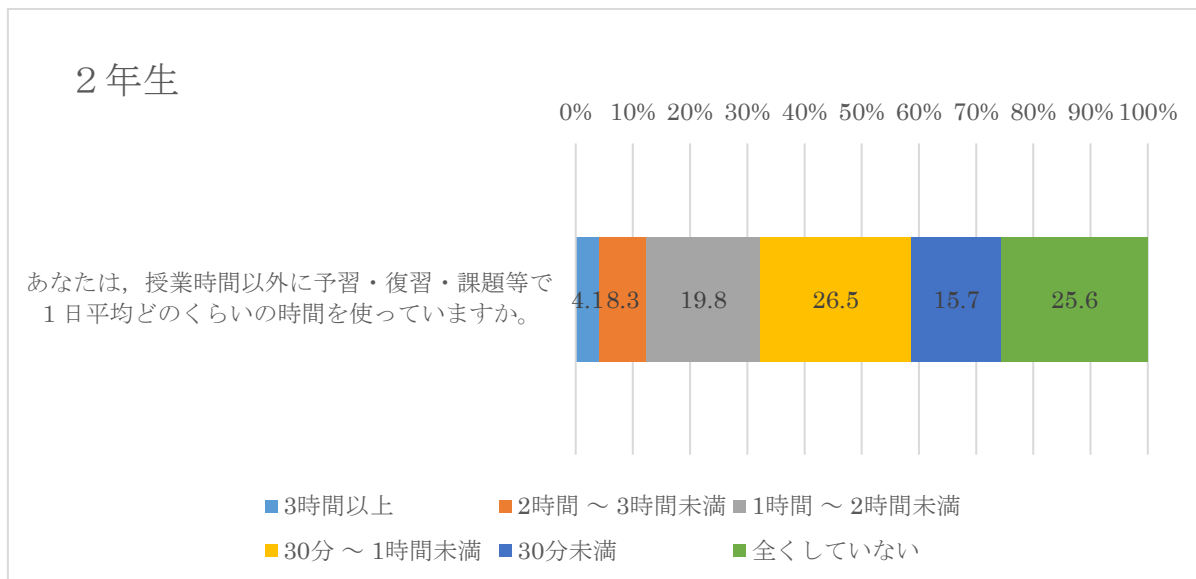


4年生

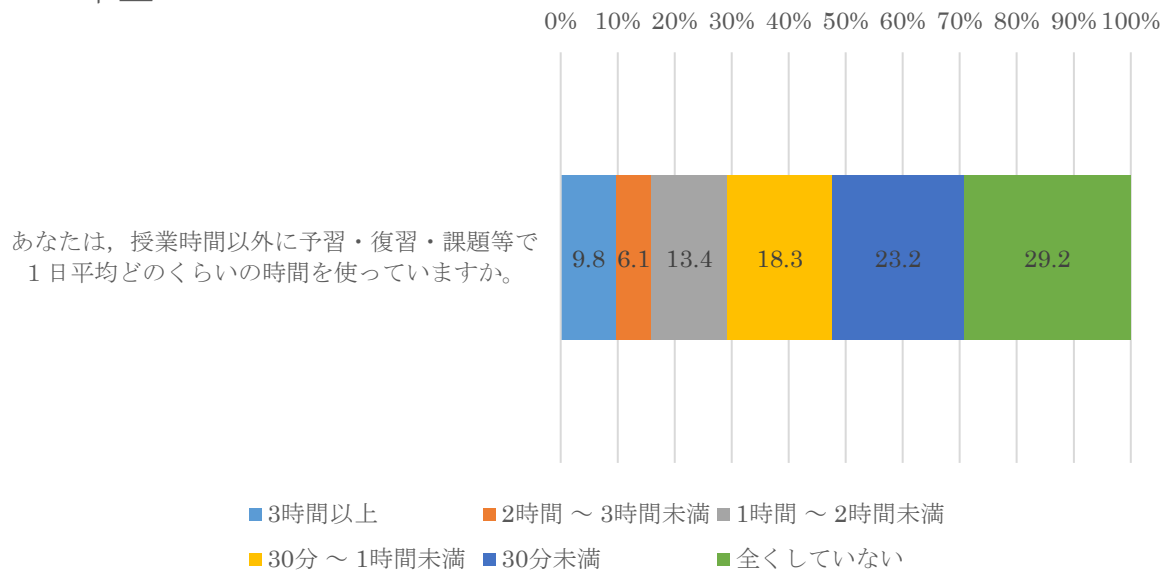


1年生は、授業や実習が中心の活動であったが、上級学年特に3年・4年生は、授業や実習以外の活動時間が長くなっている。

(4) 学習時間について



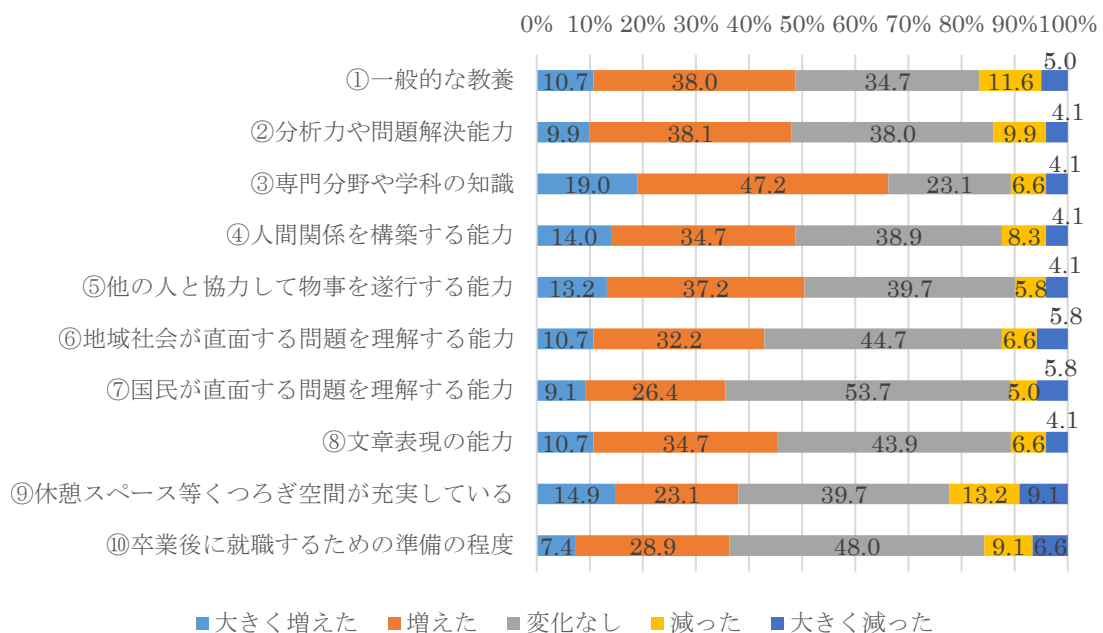
4年生



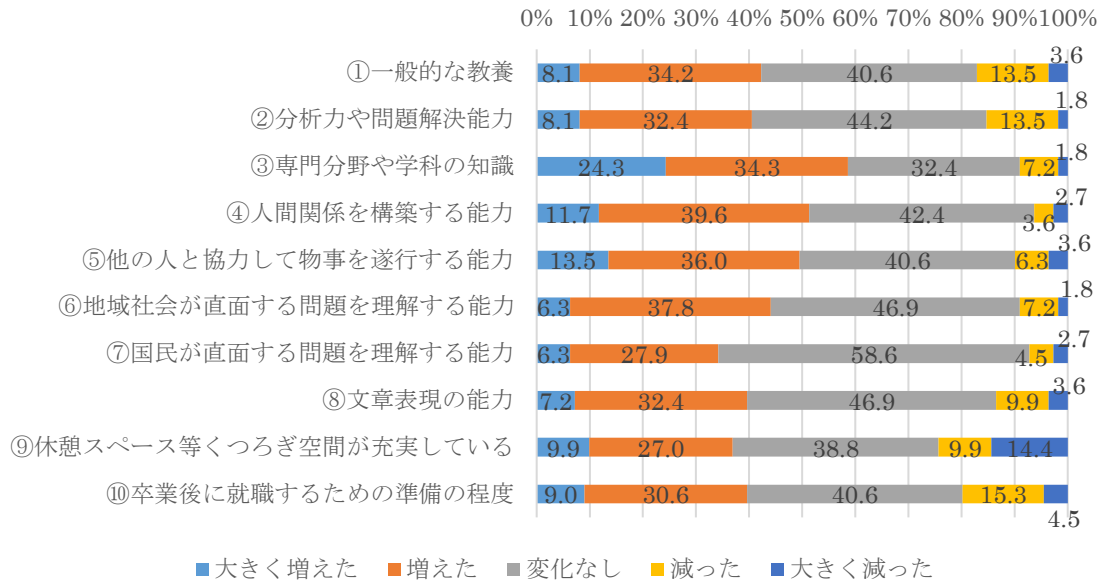
予習・復習・課題等の時間をあまり取れていないようである。

(5) 入学後の能力変化について

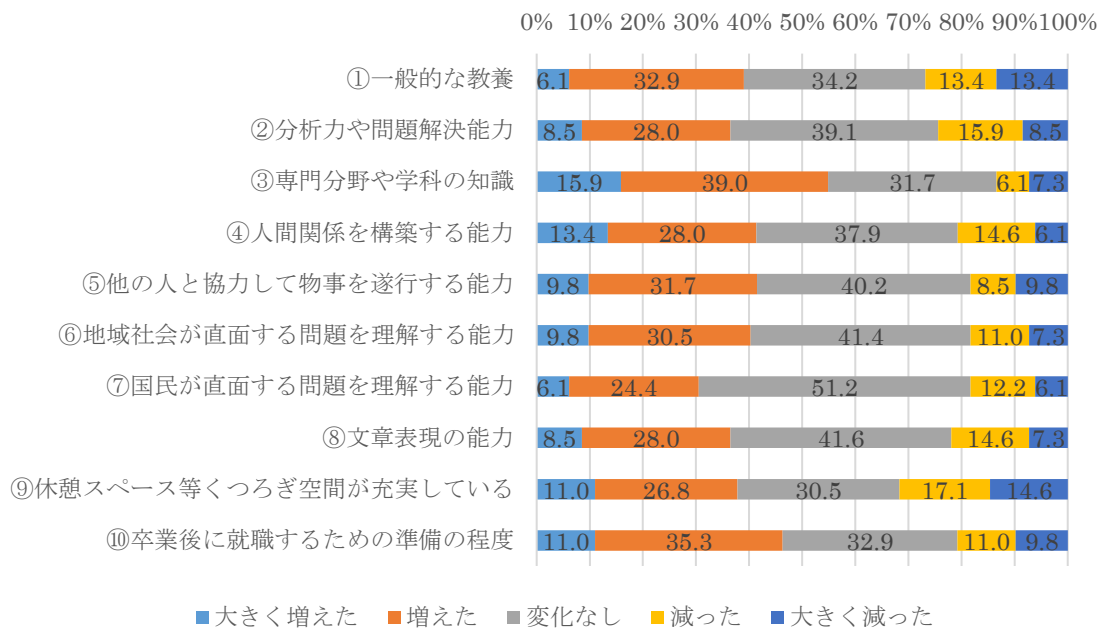
2年生



3年生

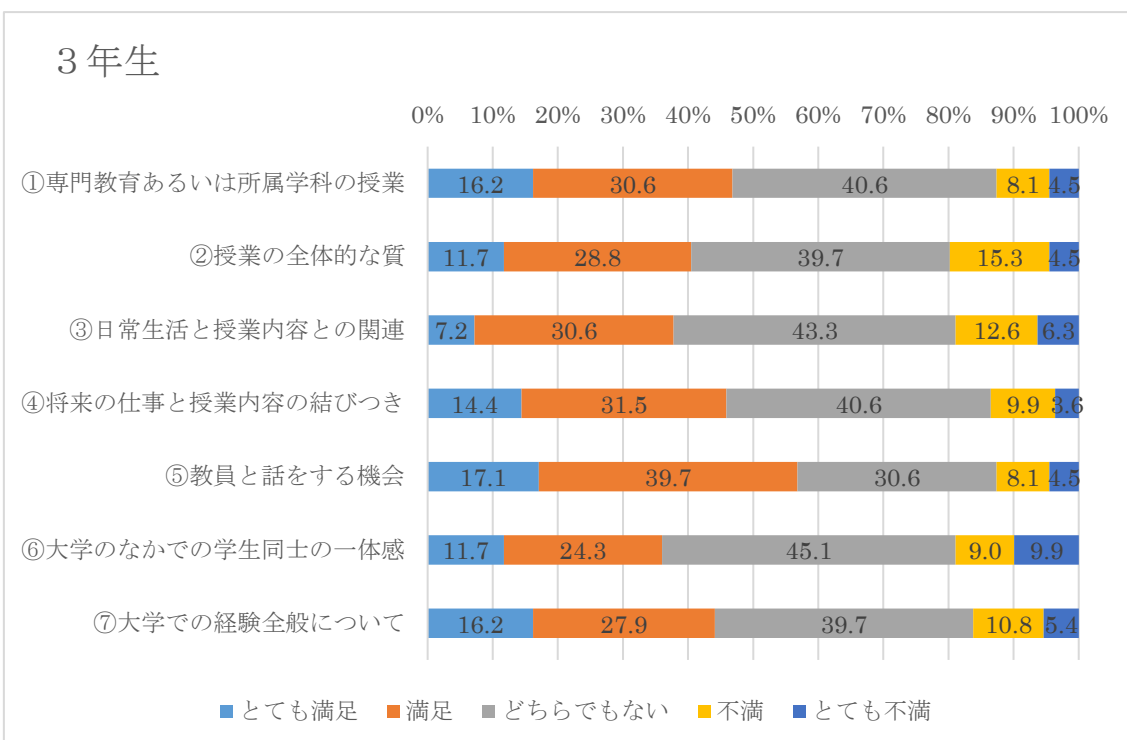
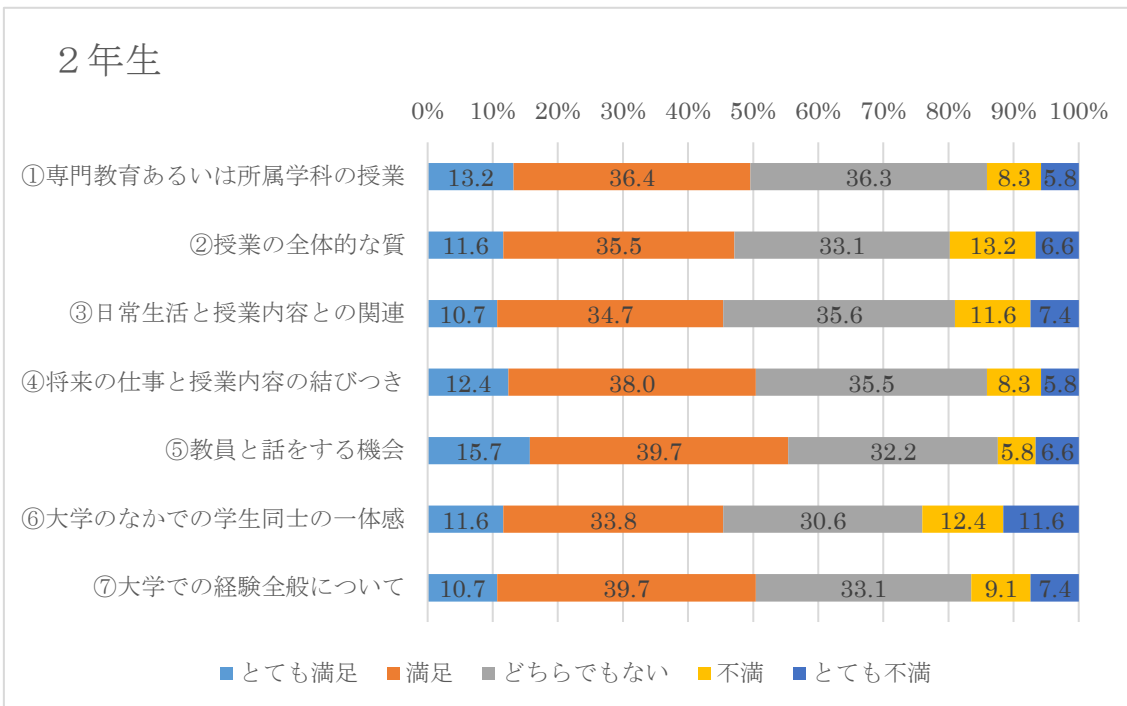


4年生

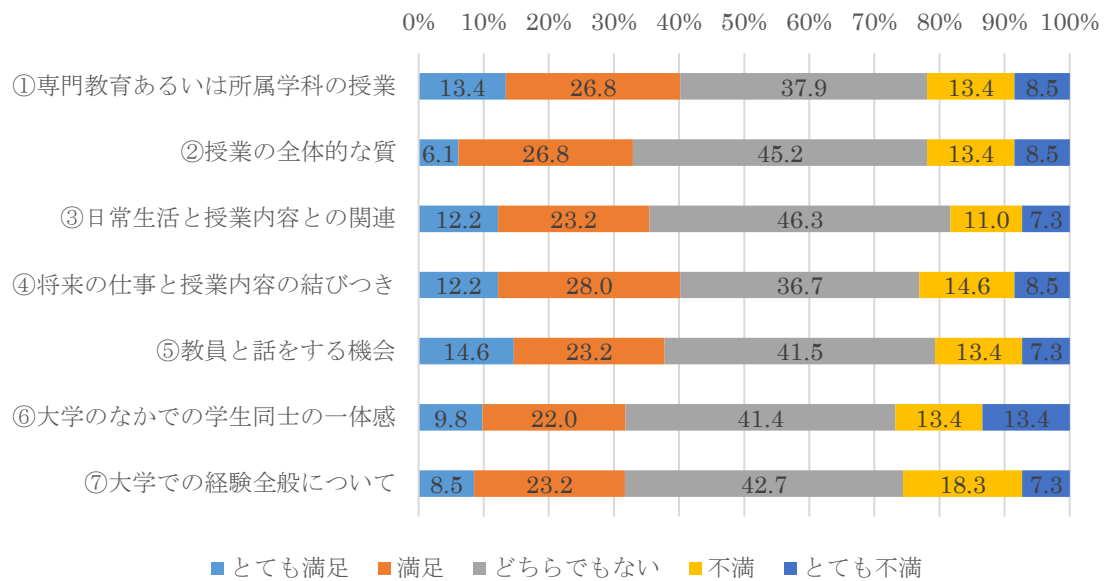


能力・知識が増えたとする学生は、どの学年も5割をおえているのは③専門分野や学科の知識だけであった。学生が謙虚なのか、控えめな回答が多かった。

(6) 大学教育への満足度について



4年生



2年生の満足度は他学年より高いが、とても満足・満足が半数程度しかいない。3年生・4年生はどちらでもないとする学生が一番多い。

以上